



あいさつ



ところどころに残雪をのぞかせる阿武隈の山々から穏やかな風が舞い、美しい青空からは、やわらかな光がふり注ぐ早春の平成17年3月1日に、田村市は誕生いたしました。

この計画は、本市の最初の総合計画として、急速に進む少子高齢化や人口減少、国際化・高度情報化に加え、緩やかな回復基調を示すものの依然として厳しい地方の経済動向や深刻化する地球環境問題、地方分権の推進により求められる地方自治体の自立した地域経営など、時代の潮流がもたらす様々な行政課題に柔軟に対応しつつ、市の将来像に掲げた「あぶくまの人・郷・夢を育むまち～はつらつ高原都市 田村市～」を実現するための指針となるものです。

策定にあたりましては、合併した滝根町・大越町・都路村・常葉町・船引町それぞれの歴史や文化、伝統など先人が脈々と築き上げてきた、私たちが誇りとする地域の個性を受け継ぎつつ互いの連携を深めることが、市全体の発展と一体性の向上につながるというクラスター方式を踏まえ、基本計画には、各地区が主体的に取り組んだ『地域別将来像』を盛り込みました。

さらに、施策や事業をより重点化したリーディングプロジェクトとして、本市のまちづくりのキーワードを活かした『「人」「郷」「夢」プロジェクト』を位置づけるとともに、計画の着実な推進を図るため、部門別計画である『基本施策』には、施策ごとに目標となる指標を設けるなど、できるだけ特色ある計画づくりに努めました。

私たちを育んだふる里は、めまぐるしい変遷を経ながらも豊かな自然の息吹の中で、悠久の時を刻み続けてきました。引き続き、新たな田村市の創造に向け、互助と融和の心を共有しながら、「人」の個性を大切に、「郷」の資源を活かし、そして「夢」の実現に市民の皆様とともに躍進してまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解とご支援をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり貴重なご意見やご提案をお寄せいただきました総合計画審議会委員の皆様をはじめ各地区の地域審議会委員、市議会議員の皆様から感謝を申し上げます。

平成19年3月

田村市長 冨塚 宥 暲